

雲ヶ畑に息づく植物と薪炭文化にふれ 生物多様性保全について知ってみよう



樹木園に植栽したヤマシャクヤクの観察と炭鉢を用いた炭ぼんさい作り



京都市北区雲ヶ畑には、ベニバナヤマシャクヤクをはじめとした、京都府指定希少野生生物が自生するなど豊かな自然が残っています。

また、かつては炭焼きや薪生産が行われ、薪炭の町としても知られています。今回は、雲ヶ畑で活動する保全団体、地域の方そして植物園のそれぞれの取組を通して生物多様性保全について考えてみましょう。

日時

令和6年4月20日（土）
午後1時から3時30分

場所

武田薬品・
京都薬用植物園

内容

- ・ 室内での生物多様性保全に関するお話と園内見学
- ・ 炭鉢を用いた炭ぼんさい作り

作った炭ぼんさいは、持ち帰れます

料金：
無料



共催：

武田薬品・京都薬用植物園 雲ヶ畑・足谷 人と自然の会 きょうと生物多様性センター

武田薬品工業株式会社 京都薬用植物園

- › お問い合わせ先
075-781-6111
- › 担当：太田
- › 住所：京都市左京区一乗寺竹ノ内町11番地

申込フォーム

二次元コードより、
お申し込みください。
締切：令和6年4月3日

